



見えないところを見つめようとする心

3月、いよいよ一年の締めくくりの時期を迎えました。“この一年間で子どもたちは心も体も大きくたくましく成長したな”と感じる場面が、日常生活の何気ないところでも随所にみられます。

先週の児童集会で和太鼓クラブが演奏を発表したときのことです。高学年からこんな感想が聞かれました。

“和太鼓クラブの演奏は息がぴったりだったので、練習を相当頑張ったんだなと思いました。”

大人からすれば何気ない感想に聞こえるかもしれませんが、この感想にはその子の確かな成長がしっかりと詰め込まれています。

小学校ではこうした場面で「息がぴったりだったので、すごかったです。」と聞きしたことに對する感想のみを言ってしまうがちになります。もちろん、まずは「息がぴったり」だということに気付くことが大切です。でも、この感想を言った高学年の児童は「練習を相当頑張った」と、今、聞きしていないことに對しても思いを馳せています。

きれいな花を咲かせる地中では、それを支える無数の根が張り巡らされているのを知っていることと似ています。

「見えないところを見つめようとする心」

そして、こうした心は各家庭でも大切に育てていただいていることが、6年生を送る会で寄せられた保護者の皆様からの感想からも伝わります。



たくさん練習したんだろうなと思うと、涙がこぼれました。

みんなで頑張った時間が、新たな学年への自信に繋がっていったなと胸が熱くなりました。

裏方で準備にあたった実行委員の皆様や教職員の皆様、ありがとうございました。

日々の学校生活の豊かさがあらわれているのだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、社会のIT化はさらに進み、人と関わる時間が今よりも減っていくと予想されます。しかし、保護者の皆様、地域の皆様とともに、こうして育ててきた心は、仲間と助け合うこと、誰かのために自分の力を使うことなど、人との繋がりの中でこそ、より豊かになっていくことと思います。

次のステップへと歩みを進めるこの時期に、ご家庭におきましても、今一度お子様とともにこの一年を振り返り、成長した点に目を向けて「喜び」を共有していただければと思います。今月も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 伊藤 茂
教職員 一同

ホームページにも、子どもたちの日々の活動の様子等を随時配信しています。右のQRコードからぜひご覧ください。

